

写経の仕方

1.まず初めに浄水を硯に少量ひたし、静かに墨をすり、心を落ちつけます。

(※墨汁の場合：まず初めに硯やお皿に墨が分量あるかどうかご確認ください。)

2.次に、表題から書き始めますが、ここでご注意があります。

浄書中は慎重な心構えで、字を間違えないように注意し、丁寧に書写します。

もし字を間違えたときは、誤字の右横に点（丶）を打ち、同じ行の上下いずれかの余白に、正しい字を書きます。脱字のときはその箇所の右に点を付し、行の末尾にその文字を書きます。

3.写経の終わりに願目などを記します。この場合、頭に「為」と書いて、願目等を記します。願目一覧を参考にして下さい。また、表立って願目を書きたくない場合は「心願成就」で結構です。故人の冥福を祈り、その菩提を弔う場合は「為」の後に戒名・法名等を続けてお書き下さい。

4.そして日付をお手本の通りに記してください。

5.最後に氏名を記入し、お手本に従い末尾に「浄写^{じょうしゃ}」と記します。

6.写経が終われば、合掌して『普回向（ふえこう）』を唱え、終了と致します。

8.写経の前に数分間、背筋を伸ばし椅子坐禅をして頂きます。背もたれは使わず、姿勢を正し呼吸を整え、しばらく静かに坐りましょう。

<留意すべきこと>

①筆の持ち方は書道本来の持ち方に拘らず、鉛筆の持ち方でも結構です。

②姿勢は肩に力をいれず、緊張のない自分の最も美しい自然体で行います。椅子に座る場合は、浅くも深くもなく腰掛け、背筋をまっすぐ伸ばし、背中を背もたれにもたれさせないようにします。

③遅すぎず早すぎず、丁度良い速度で書き進めて下さい。

【※古来より一字三礼（いちじさんらい/経文を写す時、一字写すごとに、三度礼拝すること）といって浄書する法もあります。】

普回向（※心の中でお唱えしましょう。）

ねが　こ　くどく　も　あまね　いっさい　およ
願わくは此の功德を以って、普く一切に及ぼし、
われら　しゅじょう　みなとも　ぶつどう　じょう
我等と衆生と、皆共に仏道を成ぜんことを

願目一覧

心願成就

学業増進

福寿開運

厄災消除

家門繁栄

子孫長久

家内安全

商売繁盛

社運隆昌

交通安全

当病平癒

無病息災

必勝祈願

合格祈願

身体健全

願いがかないますように。

勉強がはかどりますように。

幸せに長生きできますように。

悪いことが起きませんように。

家族が幸せでありますように。

子供達が健康でありますように。

家族が健やかに過せますように。

良い商いができますように。

会社が発展活躍しますように。

事故などに逢いませんように。

病気が治りますように。

病気にかかりませんように。

勝負事に勝てますように。

試験に合格できますように。

健康で過せますように。